

○関東・中部地方の地震活動

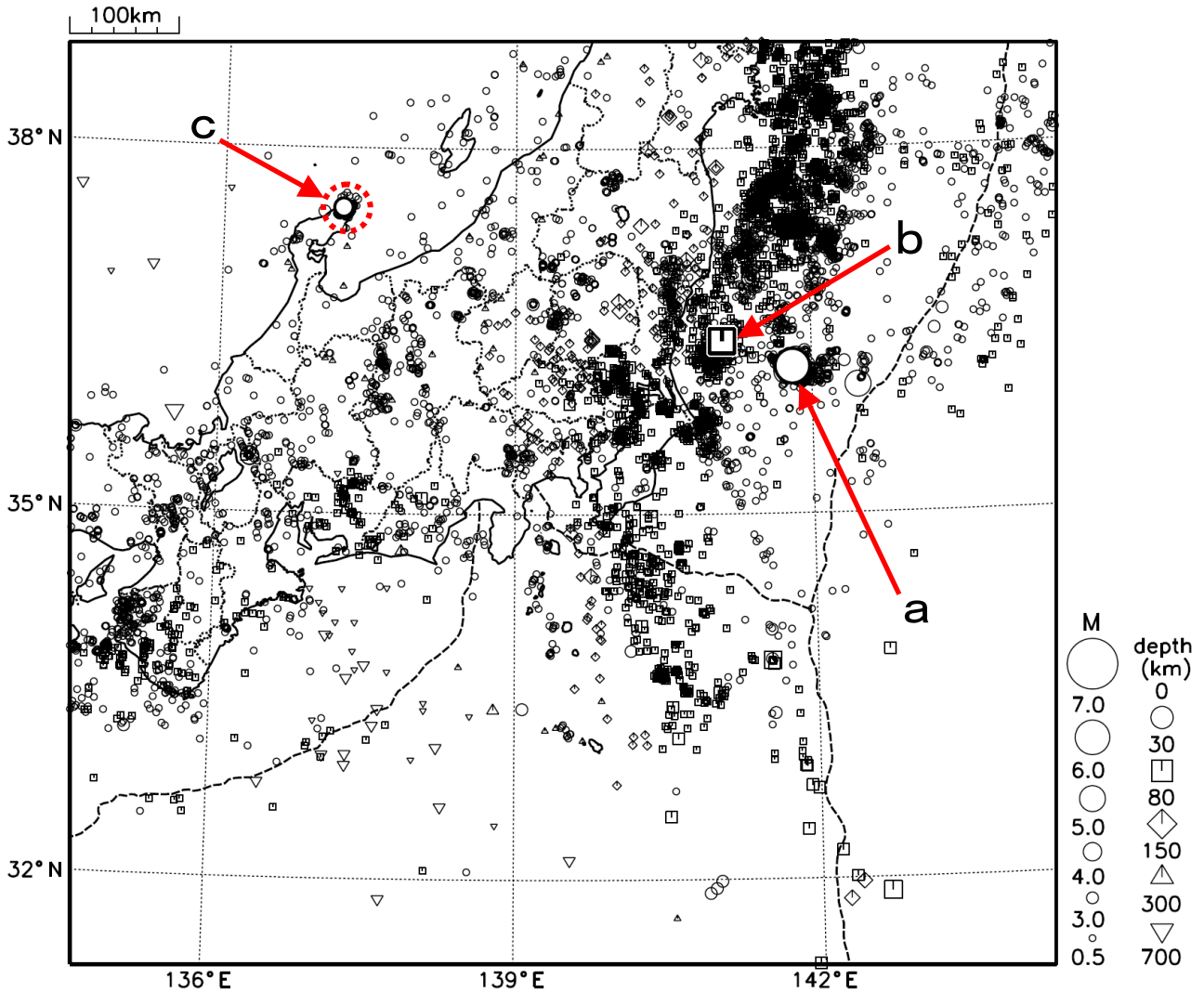


図7 関東・中部地方の震央分布図（2021年8月1日～8月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

8月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は72回（7月は68回）であった。

8月中の主な活動は次の通りである。

4日05時33分に茨城県沖の深さ18kmでM6.0の地震（図7中のa）が発生し、宮城県、福島県、茨城県及び栃木県で震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した（p.9参照）。

27日05時49分に茨城県沖の深さ40kmでM5.1の地震（図7中のb）が発生し、茨城県で震度3を観測したほか、東北地方、関東地方及び長野県で震度2～1を観測した（p.10参照）。

石川県能登地方では地震活動が活発であり、8月中に震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：9回）発生した（図7中のc、13日16時50分に発生した能登半島沖の地震（最大震度1）を含む）。8月中の最大規模の地震は14日22時38分に発生したM4.2の地震で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県能登と富山県東部で震度2～1を観測した（p.11参照）。